

複数のコーパスを用いた新しい文法シラバス策定の試み

庵 功雄 (一橋大学国際教育センター)

宮部真由美、永谷直子 (一橋大学言語社会研究科大学院生)

Creating New Grammatical Syllabus Based on Several Corpora

Isao Iori, Mayumi Miyabe, Naoko Nagatani (Hitotsubashi University)

要旨

日本語教育を取り巻く状況の変化にともない、新しい文法シラバスが必要とされている。本稿では、そうした問題意識のもと、4技能に対応する4つのコーパスのデータにもとづき、それに日本語学、日本語教育文法の知見を加味して作成した新しい文法シラバスの試案を報告する。本稿の内容は今後の日本語教育に少なからぬインパクトを与えるものである。

1. はじめに

日本語教育を取り巻く現状の変化に合わせて、新しい文法シラバスが求められている (cf. 庵 2009, 2011a, 2014b)。こうした事情に合わせて、国立国語研究所の共同研究プロジェクトの1つとして、「学習者コーパスから見た日本語習得の難易度に基づく語彙・文法シラバスの構築」が行われ、その成果物として論文集の公刊が予定されている。本稿は、こうした問題意識のもとに、現在利用可能な4種類の母語話者コーパスを利用し、そこにおける頻度を重視した形で、初級から上級までを見通した文法シラバスの案を提案することを目的とする。ただし、完全に頻度のみで項目を選定するのではなく、そこに、日本語教育文法、および、「やさしい日本語」という観点を取り入れたシラバスの構築を目指すものとする¹。

2. 地域型日本語教育、学校型日本語教育と初級文法シラバス

本稿では、初級と中上級の文法シラバスについてそれぞれ (やや) 異なる観点からアプローチすることにする。本節ではまず初級に関する観点について述べる。

初級の文法シラバスについては、先に論者は「やさしい日本語」という観点から Step1, 2 という文法シラバスを提案した (庵 2009, 2011a)²。これは、地域型日本語教育³の現状にそ

¹ 日本語教育文法に関する論者の考えについては庵(2011b, 2013a)を、「やさしい日本語」については庵(2013b, 2013c, 2014a)をそれぞれ参照されたい。

² Step1, 2 はそれぞれ初級前半、初級後半に相当するが、現行の初級シラバスに比べると大幅に項目が刈り込まれている。この点について詳しくは庵(2009, 2011a)を参照されたい。

³ 日本語教育を「地域型」と「学校型」に分けて考える見方については尾崎(2004)などを参照。

くした「地域型初級」というものである⁴。

一方、日本国内の留学生教育をめぐる状況の変化などに対応するために、学校型日本語教育においてもこの Step1, 2 をベースにした文法シラバスが必要との観点から、論者は学校型日本語教育のための Step1, 2 を提案した (庵 2014b)。

Step1, 2 の主な特徴は以下の通りである (a~d は地域型、学校型共通。e は学校型のみ)。

- (1)a. 理解レベルと産出レベルの区別を明確にし、産出レベルを中心とする。
- b. 単文については、南(1974)にもとづく階層構造を想定し、各文法カテゴリーに属する項目を取り上げることにより、森羅万象を日本語で表現できることを保障する。
- c. Step1 では活用を (実質的に) 廃止し⁵、Step2 でも普通形 (plain form) を作るのに必要な形だけを活用形として導入する。
- d. 同じ機能を担う形式が複数存在するときには「1 機能 1 形式」を原則とする。
- e. 複文については、仁田(1995)にもとづく階層構造を相当し、各文法カテゴリーに属する項目を取り上げる。

これらの理念にもとづく具体的なシラバスについては 6 で提案する。

3. 「バイパスとしての「やさしい日本語」と中上級文法シラバス

上で見た初級シラバス (特に地域型) は、「やさしい日本語」が担う諸機能⁶との関係から、も全ての定住外国人に対して保障されるべきものであり、その重要性は極めて大きい。定住外国人にとって Step1, 2 だけで十分かと言うとそうは言えない。特に、定住外国人の子どもにとってはそうである。

庵(2014a, 近刊)では、定住外国人の子どもが日本語を母語とする子どもに対して負っている言語上のハンディをできるだけ早く埋め、彼 (女) らが安定的に教科学習に取り組めるようにするための言語上の調整を「バイパスとしての「やさしい日本語」と呼んでいる。そして、そうした「バイパスとしての「やさしい日本語」」のための教材は次のような要件を満たす必要があるとしている。

- (2)a. 初級から上級までを見通したシラバスによって設計されている。
- b. 限られた時間で学べるように、習得すべき項目が厳選されている。
- c. 教材において、理解レベルと産出レベルの区別が明確で、各技能に特化した言語知識を導入できる設計になっている。
- d. 教室で学ぶことを補完する形で、e-learning などの補助教材が充実している。

⁴ これに関しては、Step1, 2 を教材化した庵監修(2010, 2011)も参照されたい。

⁵ Step1 でも「書きますー書きました／書きません」などの活用はあるが、これらは「ます」を「ました」などに取り替えればいだけで学習者の実質的な負担はないので、実質的には活用がないのと同じである。

⁶ 「やさしい日本語」が担う諸機能について詳しくは庵(2013c, 2014a)を参照されたい。

これらの理念にもとづく具体的なシラバスについては6で提案する。

4. 使用したコーパスの種類と4技能

本稿では、2, 3 で見た問題意識にもとづいて新しい文法シラバスを提案する。その際、特に中上級においては、基本的にはコーパスにおける出現頻度を重視する（ただし、表現上の必要性などの観点から項目を入れ替えることもある）。

4.1 項目の選定基準

まず、項目の選定基準について考えるが、これは、現行の文法シラバスが「項目主義」であることを批判した野田(2005)や白川(2005)を受け、「用法主義」をとる。すなわち、重要度が高い項目については、その項目の用法を単位として項目を選定する。

次に、項目の採用基準だが、これは、現代日本語書き言葉均衡コーパス (BCCWJ) の長単位で品詞が「助詞」または「助動詞」であるもの全てとした。そして、それに連体修飾などのコーパスでは検出しにくい項目を加えた。以上の2つの方針にもとづいた結果、対象項目数は246となった。

4.2 コーパスの種類と4技能

ここでは、本稿で用いたコーパスと、それをどのように用いるのかについて述べる。本稿で使用したコーパスは以下の通りである。

- (3)a. 名大会話コーパス (全129ファイル)
- b. 新聞コーパス (朝日新聞2012年版全ファイルのうち24日分をランダムサンプリングしたもの)
- c. 新書コーパス (Castel/Jから配付されているファイルのほぼ全て)
- d. BCCWJ (書籍・コアのみ)

本稿ではこれらを「話す、聞く、書く、読む」という4技能に対応するものと見なす。

まず、dのBCCWJの書籍で頻度が高いものは「読む」において必要度が高いと考えられる。一方、cの新書コーパスの内容は、「読む」ことに加え、留学生が「書く」必要があるテキストタイプであると考えられる。さらに、bの新聞コーパスの内容は、「読む」「書く」に加えて「聞く」でも必要であると考えられる。最後に、aの名大会話コーパスの内容は、「話す」を含む4技能全てで必要と考えられる。

以上のことから、aが最も基本的で、a→dの順で基本的でなくなる(=高いレベルの項目になる)と考えることができる。このことを考慮に入れて、5では各コーパスで頻度が高い項目(各コーパスの特徴語)を抽出し、6では具体的なシラバスの試案を提示する。

5. コーパスの分析結果

ここでは各コーパスの分析結果について述べる。

5.1 コーパスサイズと総頻度による上位項目

まず、各コーパスのサイズ（形態素数）は次の通りである。

表1 各コーパスのサイズ

名大	朝日	新書	BCCWJ
1101817	1354428	2014729	169730

次に、総頻度（100万語単位換算）による上位30位までの項目は以下の通りである。

表2 総頻度による上位項目（100万語換算）⁷

総頻度順位	形式	品詞	名大	朝日	新書	BCCWJ	総頻度
1	の	格助詞	19225	93654	56601	57892	227372
2	だ／です／で (も)ある	助動詞	59133	29106	41369	39304	168912
3	に	格助詞	17940	56873	38415	37100	150328
4	は	とりたて助詞 (係助詞)	17187	51746	37711	43104	149748
5	た	助動詞	27342	57229	23307	39433	147311
6	を	格助詞	6603	58349	29260	38496	132708
7	が	格助詞	17796	43392	25578	30372	117138
8	て	接続助詞	27273	37513	35291	16980	117057
9	と	格助詞	19242	35140	29877	21511	105770
10	で	格助詞	19646	32511	12424	13993	78574
11	も	とりたて助詞 (係助詞)	18207	15954	13981	18082	66224
12	ている	助動詞	8050	10910	9900	16002	44862
13	れる／られる	助動詞	2886	12614	10832	9592	35924
14	ない	助動詞	11900	7456	7445	7553	34354
15	ね	終助詞	27062	515	180	1078	28835
16	から	格助詞	2991	9583	4084	4819	21477
17	か	とりたて助詞 (副助詞)	10787	2272	3561	3971	20591
18	か	終助詞	11386	2106	2251	3682	19425
19	ます	助動詞	2945	3607	3227	9580	19359
20	ようだ	助動詞	1161	8469	4398	4725	18753
21	って	とりたて助詞 (副助詞)	17280	289	136	736	18441
22	のだ	助動詞	4809	537	3530	8826	17702
23	から	接続助詞	9945	866	2475	2451	15737
24	よ	終助詞	13431	580	206	1214	15431
25	や	とりたて助詞 (副助詞)	451	7440	3249	2899	14039
26	が	接続助詞	206	4619	4444	4596	13865
27	と	接続助詞	2533	3684	2798	3005	12020
28	など	とりたて助詞 (副助詞)	92	6824	2375	2280	11571
29	けれど	接続助詞	8830	333	232	672	10067
30	ば	接続助詞	1475	2000	3210	2822	9507

⁷ BCCWJの検索は原則として長単位で行った。

5.2 各コーパスの特徴項目の抽出方法

次に、各コーパスの特徴項目を抽出するが、その際、次の指標を設定した。

- (4) そのコーパスにおける頻度の割合が40%を越える。

これは各コーパス間の出現頻度の割合の差からそのコーパスの特徴項目を取り出すというものである⁸。

5.3 各コーパスの特徴項目

ここでは、各コーパスの特徴項目((4)を満たす)を取り上げる。

5.3.1 名大会話コーパスの特徴項目

表3 名大会話コーパスの特徴項目⁹

名大比率順位	項目	品詞	名大比率	総頻度順位	名大順位	総頻度順位-名大順位
1	ようかな	終助詞	97.2	153	82	71
2	さ	終助詞	96.9	34	20	14
3	のだったら	接続助詞	94.9	166	91	75
4	ね	終助詞	93.9	15	4	11
5	って	とりたて助詞(副助詞)	93.7	21	11	10
6	の	終助詞	91.5	41	23	18
7	かな/かね	終助詞	89.4	66	37	29
8	けれど	接続助詞	87.7	29	18	11
9	もの	終助詞	87.5	129	56	73
10	よ	終助詞	87.0	24	13	11
11	なんて/なんか	とりたて助詞(副助詞)	85.2	55	27	28
12	な	終助詞	82.9	36	22	14
13	みたいだ	助動詞	82.0	68	40	28
14	ようか	終助詞	72.6	114	68	46
15	わ	終助詞	72.2	78	49	29
16	たら	接続助詞	71.4	33	24	9
17	くらい	とりたて助詞(副助詞)	66.9	57	35	22
18	ましようか	終助詞	66.0	199	127	72
19	から	接続助詞	63.2	23	17	6
20	ようね/ようよ	意向形	61.6	169	106	63
21	たって	接続助詞	61.3	165	100	65
22	である	助動詞	60.7	94	57	37
23	か	終助詞	58.6	18	15	3
24	ちゃ*	接続助詞	58.3	121	76	45
25	ようと思う/考える}	意向形	58.2	126	80	46
26	し	接続助詞	57.5	56	36	20
27	からか	終助詞	57.1	211	159	52
28	かしら	終助詞	54.4	140	88	52
29	か	とりたて助詞(副助詞)	52.4	17	16	1
30	らしい	助動詞	51.5	93	60	33
31	たら/ば/どいい	助動詞	49.2	86	55	31
32	のか	終助詞	48.9	48	33	15
33	かもしれない	助動詞	47.6	82	54	28
34	からではない	助動詞	47.2	196	132	64
35	そうだ*	助動詞	46.0	89	61	28
36	てあげる	助動詞	45.4	151	95	56
37	てしまう/ちゃう	助動詞	44.3	46	34	12
38	のに*	接続助詞	44.3	71	52	19
39	ではない	助動詞	44.1	32	26	6
40	かい	終助詞	42.9	208	148	60
41	ておく/とく	助動詞	41.7	83	58	25
42	てもいい	助動詞	40.9	104	77	27
43	ぜ	終助詞	40.4	178	123	55

⁸ (4)以外に、「総頻度順位と当該コーパスの順位が40以上であり、かつ、当該のコーパスでの比率が各コーパス間で最も高い」という指標も設定したが、これのみを満たす項目はなかった。

⁹ *の項目はBCCWJで短単位検索を行った。また、「かい」はBCCWJと出現頻度が同じであった。

5.3.2 新聞コーパスの特徴項目

表4 新聞コーパスの特徴項目

朝日比率順位	項目	品詞	朝日比率	総頻度順位	朝日順位	総頻度順位-朝日順位
1	と見られて(いる)	助動詞	86.8	139	69	70
2	をめぐる	格助詞	84.6	123	63	60
3	によると/によれば	格助詞	83.0	67	31	36
4	ために(理由)	接続助詞	70.8	146	55	91
5	につき	格助詞	66.7	209	170	39
6	など	とりたて助詞(副助詞)	59.0	28	18	10
7	ようと	意向形	58.8	113	68	45
8	際に	格助詞	56.0	163	123	40
9	たところ	接続助詞	55.8	131	81	50
10	と考えられて(いる)	助動詞	55.0	135	89	46
11	てほしい	助動詞	54.1	100	62	38
12	や	とりたて助詞(副助詞)	53.0	25	17	8
13	について	格助詞	52.3	58	33	25
14	とともに	接続助詞	51.3	120	78	42
15	へ	格助詞	50.6	43	22	21
16	をはじめ	格助詞	50.0	158	120	38
17	を通じて	格助詞	49.7	145	103	42
18	ものの	接続助詞	48.2	150	110	40
19	ようだ	助動詞	45.2	20	15	5
20	から	格助詞	44.6	16	14	2
21	つつ	接続助詞	44.4	125	88	37
22	を	格助詞	44.0	6	2	4
23	上で	接続助詞	43.7	136	98	38
24	にわたる/にわたり/にわたって	格助詞	43.4	142	102	40
25	による/により/によって	格助詞	43.1	42	24	18
26	ずつ	とりたて助詞(副助詞)	42.6	130	96	34
27	たい	助動詞	41.9	47	25	22
28	で	格助詞	41.4	10	9	1
29	の	格助詞	41.2	1	1	0

5.3.3 新書コーパスの特徴項目

表5 新書コーパスの特徴項目

新書比率順位	項目	品詞	新書比率	総頻度順位	新書順位	総頻度順位-新書順位
1	につれて/につれ	接続助詞	77.0	186	140	46
2	において/における	格助詞	67.4	79	40	39
3	にしたがって/にしたがい	接続助詞	66.7	187	144	43
4	とも	接続助詞	64.3	147	96	51
5	に関わらず	接続助詞	62.5	207	184	23
6	に過ぎない	助動詞	61.6	149	102	47
7	までもない	助動詞	59.6	159	121	38
8	ているところだ	助動詞	58.8	198	172	26
9	に際して/に際し	格助詞	58.5	201	179	22
10	と思われ(ている)	助動詞	55.4	137	93	44
11	にせよ	接続助詞	55.2	180	145	35
12	をもって	格助詞	54.4	174	138	36
13	にも関わらず	接続助詞	53.0	160	127	33
14	ようとしても/ようと	意向形	52.8	191	162	29
15	まい	助動詞	52.5	152	118	34
16	にしても	接続助詞	50.9	128	87	41
17	としたら/とすれば/とすると	接続助詞	50.2	116	79	37
18	上に	接続助詞	50.0	205	188	17
19	に至るまで	格助詞	46.3	183	158	25
20	ことに/となる	助動詞	45.7	69	44	25
21	からといって	接続助詞	45.6	175	148	27
22	に違いない	助動詞	45.4	148	119	29
23	と同時に	接続助詞	45.1	164	137	27
24	からこそ	接続助詞	44.9	172	147	25
25	からだ*	助動詞	44.8	81	51	30
26	なければならぬ	助動詞	44.7	90	64	26
27	に限らず	とりたて助詞(副助詞)	44.1	192	170	22
28	たところで	接続助詞	43.6	194	180	14
29	だけでなく	とりたて助詞(副助詞)	43.5	115	84	31
30	とともに	接続助詞	42.4	120	91	29
31	かと思うと	接続助詞	42.1	210	200	10
32	ためだ*	助動詞	41.4	138	111	27
33	さえ	とりたて助詞(副助詞)	40.6	106	78	28
34	ほど(～ば～ほど)	とりたて助詞(副助詞)	40.4	177	156	21
35	のみ	とりたて助詞(副助詞)	40.4	132	104	28
36	に対する/に対して/に対し	格助詞	40.3	62	41	21

5.3.4 BCCWJ (書籍・コア) の特徴項目

表6 BCCWJ (書籍・コア) の特徴項目

BCCWJ比率順位	項目	品詞	BCCWJ比率	総頻度順位	BCCWJ順位	総頻度順位-BCCWJ順位
1	AようがAまいが/AだろうがBだろうが	意向形	88.2	184	144	40
2	のではない	助動詞	78.3	95	62	33
3	おかげで*	接続助詞	74.4	202	183	19
4	といっても	とりたて助詞(係助詞)	62.6	171	145	26
5	はずがない	助動詞	61.0	188	167	21
6	という/といった	格助詞	57.7	31	17	14
7	どこ	とりたて助詞(副助詞)	57.1	157	124	33
8	ようとする/ようとしたら	意向形	57.1	200	187	13
9	のみならず	とりたて助詞(副助詞)	55.8	195	182	13
10	のに(目的)*	接続助詞	55.0	168	151	17
11	ように(間接引用)	格助詞	54.2	111	91	20
12	にしろ	接続助詞	54.0	185	165	20
13	と考える/と考えられる	助動詞	53.5	107	85	22
14	やら	とりたて助詞(副助詞)	52.7	156	127	29
15	すら	とりたて助詞(副助詞)	51.9	154	123	31
16	のだ	助動詞	49.9	22	15	7
17	に至るまで	格助詞	49.5	183	164	19
18	ます	助動詞	49.5	19	14	5
19	のだから*	接続助詞	49.0	117	97	20
20	わけがない*	助動詞	48.6	204	194	10
21	せいで	接続助詞	47.9	190	179	11
22	ては*	接続助詞	47.8	119	99	20
23	てくださる	助動詞	47.7	99	84	15
24	に違いない	助動詞	46.7	148	121	27
25	だろうか	終助詞	46.6	76	55	21
26	のに(逆接)*	接続助詞	46.6	97	82	15
27	ようしない	意向形	46.1	189	178	11
28	わけだ*	助動詞	46.1	70	51	19
29	ところだ	助動詞	45.9	133	110	23
30	ことができる	助動詞	45.4	77	61	16
31	はずだ	助動詞	45.4	103	90	13
32	のだろうか	終助詞	45.0	108	95	13
33	からには	接続助詞	43.9	203	195	8
34	てやる	助動詞	43.2	134	112	22
35	わりに	接続助詞	42.9	193	189	4
36	かい	終助詞	42.9	208	199	9
37	なり	とりたて助詞(副助詞)	42.7	182	174	8
39	たところだ/たばかりだ	助動詞	42.4	173	160	13
40	ようにする	助動詞	41.6	124	105	19
41	さえ	とりたて助詞(副助詞)	41.4	106	92	14
42	なら(主題)	接続助詞	41.2	110	98	12

6. シラバスの試案

ここでは新しい文法シラバスの試案を提案する。Step1, 2は初級前半、初級後半に対応し、Step3は文体を整理するレベルとする。Step4~6はそれぞれ中級、中上級、上級に対応する。

なお、紙幅の関係上、各項目について、項目名、品詞、総頻度順位のみを記す。

このシラバスは、基本的に次の方針で策定されている。

- (5)a. Step1,2は総頻度順位の上位のものを取り入れるが、日本語文の構造上必要な項目は適宜加える。
- b. Step3は名大コーパス、Step4は新聞コーパス、Step5は新書コーパスにおいて頻度順で上位の項目を優先的に含める。
- c. 当該のStepにおいて表現機能上必要な項目については、頻度順とは関係なくそのStepに含める。

表7 新しい文法シラバス

Step	項目	品詞	総頻度順位	Step	項目	品詞	総頻度順位
1	の	格助詞	1	2	よ	終助詞	24
1	です	助動詞	2	2	や	とりたて助詞(副助詞)	25
1	に	格助詞	3	2	けれど	接続助詞	29
1	は(主題)	とりたて助詞(係助詞)	4	2	たら(条件)	接続助詞	33
1	た	助動詞	5	2	よう/ましょう	意向形	37
1	を	格助詞	6	2	でしょう(確認要求)*	助動詞	38
1	が	格助詞(目的語)	7	2	ても*	接続助詞	39
1	と	格助詞	9	2	のか(前提のある疑問文)	終助詞	48
1	で	格助詞	10	2	たり	とりたて助詞(副助詞)	53
1	も	とりたて助詞(係助詞)	11	2	ので*	接続助詞	60
1	ない	助動詞	14	2	ながら	接続助詞	61
1	から	格助詞	16	2	ことが/も/はある/ない	助動詞	64
1	か	とりたて助詞(副助詞)	17	2	ために(目的)	接続助詞	72
1	か	終助詞	18	2	てもらう	助動詞	73
1	ます	助動詞	19	2	しか	とりたて助詞(副助詞)	75
1	ではない	助動詞	32	2	ことができる	助動詞	77
1	たい	助動詞	47	2	かもしれない	助動詞	82
1	と思う	助動詞	52	2	ようになる	助動詞	85
1	より	格助詞	59	2	なくてはならない	助動詞	90
2	が	格助詞(主語)	7	2	のに(逆接)*	接続助詞	97
2	て	接続助詞	8	2	ための	格助詞	102
2	と(引用)	格助詞	9	2	てもいい	助動詞	104
2	ている(進行中)	助動詞	12	2	なら(主題)	接続助詞	110
2	(ら)れる(有情物主語)	助動詞	13	2	ように(目的)	接続助詞	127
2	ね	終助詞	15	2	分裂文(変形)(理解)		
2	のだ(理由)	助動詞	22	2	連体修飾(内の関係)(理解)		
2	から	接続助詞	23				
3	だ/で(も)ある	助動詞	2	4	くらい	とりたて助詞(副助詞)	57
3	は(対比)	とりたて助詞(係助詞)	4	4	について	格助詞	58
3	ている(結果残存、繰り返し)	助動詞	12	4	に対する/に対して/に対し	格助詞	62
3	(ら)れる(使役受身)	助動詞	13	4	てみる	助動詞	65
3	ようだ	助動詞	20	4	かな/かね	終助詞	66
3	って	とりたて助詞(副助詞)	21	4	によると/によれば	格助詞	67
3	のだ(解釈)	助動詞	22	4	ことに/となる	助動詞	69
3	が	接続助詞	26	4	わけだ*	助動詞	70
3	と(事実的)	接続助詞	27	4	べきだ	助動詞	74
3	ば	接続助詞	30	4	だろうか	終助詞	76
3	という/といった	格助詞	31	4	わ	終助詞	78
3	たら(事実的)	接続助詞	33	4	において/における	格助詞	79
3	さ	終助詞	34	4	からだ*	助動詞	81
3	な	終助詞	36	4	ておく/とく	助動詞	83
3	だろう/であろう(推量)*	助動詞	38	4	【たら/ば/と】いい	助動詞	86
3	てくる/てく(方向性)	助動詞	40	4	ばかり	とりたて助詞(副助詞)	87
3	の	終助詞	41	4	にあって	格助詞	88
3	による/により/によって	格助詞	42	4	そうだ*	助動詞	89
3	へ	格助詞	43	4	ではないか(否定疑問)	終助詞	91
3	として	格助詞	44	4	ただだ	助動詞	92
3	だけ	とりたて助詞(副助詞)	45	4	らしい	助動詞	93
3	てしまう/ちゃう	助動詞	46	4	である(準備)	助動詞	94
3	(さ)せる(「(さ)せてください」)	助動詞	49	4	のではない	助動詞	95
3	か(おかげか/せいとか/ためか/わけか/からか/のか)	終助詞	50	4	しそうだ(動詞のみ)	助動詞	98
3	ていく/てく(方向性)	助動詞	54	4	てくださる	助動詞	99
3	てくれる	助動詞	63	4	てほしい	助動詞	100
3	みたいだ	助動詞	68	4	わけでは(は/も)ない*	助動詞	101
3	なら/のなら(条件)	接続助詞	84	4	はずだ	助動詞	103
3	である(結果残存)	助動詞	94	4	さえ	とりたて助詞(副助詞)	106
3	たって	接続助詞	165	4	と考える/と考えられる	助動詞	107
3	のだったら	接続助詞	166	4	のだろうか	終助詞	108
3	可能形			4	のではないか	終助詞	109
3	連体修飾(内の関係)(産出)			4	ように(間接引用)	格助詞	111
4	ている(完了)	助動詞	12	4	てはならない/てはいけない	助動詞	112
4	(ら)れる(無情物主語)	助動詞	13	4	としたら/とすれば/とすると	接続助詞	116
4	のだ(言い換え)	助動詞	22	4	のだから*	接続助詞	117
4	と(条件)	接続助詞	27	4	をめぐる	格助詞	123
4	など	とりたて助詞(副助詞)	28	4	もの	終助詞	129
4	てくる/てく(アスペクト)	助動詞	40	4	ために(理由)	接続助詞	146
4	のか(説明を求める疑問文)	終助詞	48	4	からといって	接続助詞	175
4	(さ)せる(「(さ)せてもらう/(さ)せてくれる」)	助動詞	49	4	分裂文(情報の受け継ぎ)(理解)		
4	ず	助動詞	51	4	連体修飾(外の関係・内容補充)(産出)		
4	ていく/てく(アスペクト)	助動詞	54	4	お~になる(尊敬語)		
4	なんて/なんか	とりたて助詞(副助詞)	55	4	ハーフ文(形容詞、名詞)(産出)		
4	し	接続助詞	56				

Step	項目	品詞	総頻度順位	Step	項目	品詞	総頻度順位
5	ている(経験・記録)	助動詞	12	6	を通じて	格助詞	145
5	のだ(発見)	助動詞	22	6	とも	接続助詞	147
5	(さ)せる(「(さ)せる」)	助動詞	49	6	に過ぎない	助動詞	149
5	ようにする	意向形	80	6	ものの	接続助詞	150
5	ではないか(認識要求)	終助詞	91	6	まい	助動詞	152
5	こそ	とりたて助詞(係助詞)	96	6	すら	とりたて助詞(副助詞)	154
5	に関する／に関して	格助詞	105	6	つつある	助動詞	155
5	ようか	終助詞	114	6	やら	とりたて助詞(副助詞)	156
5	だけでなく	とりたて助詞(副助詞)	115	6	どころ	とりたて助詞(副助詞)	157
5	しかない	助動詞	118	6	をはじめ	格助詞	158
5	とともに	接続助詞	120	6	までもない	助動詞	159
5	ちゃ*	接続助詞	121	6	にも関わらず	接続助詞	160
5	ようにする	助動詞	124	6	とはいえ	接続助詞	161
5	つつ	接続助詞	125	6	と見る	助動詞	162
5	ように[思う／考える]	意向形	126	6	際に	格助詞	163
5	にしても	接続助詞	128	6	と同時に	接続助詞	164
5	ずつ	とりたて助詞(副助詞)	130	6	ざるを得ない	助動詞	167
5	たところ	接続助詞	131	6	のに(目的)*	接続助詞	168
5	ところだ	助動詞	133	6	きり	とりたて助詞(副助詞)	170
5	でやる	助動詞	134	6	といつても	とりたて助詞(係助詞)	171
5	と考えられている	助動詞	135	6	からこそ	接続助詞	172
5	上で	接続助詞	136	6	たところだ／たばかりだ	助動詞	173
5	と思われている	助動詞	137	6	をもって	格助詞	174
5	から	終助詞	140	6	わけにはいかない	助動詞	176
5	にわたる／にわたり／にわたって	格助詞	142	6	ほど(～ば～ほど)	とりたて助詞(副助詞)	177
5	ぞ	終助詞	143	6	にせよ	接続助詞	180
5	ていただく	助動詞	144	6	にあって／にあたり	格助詞	181
5	に達しない	助動詞	148	6	なり	とりたて助詞(副助詞)	182
5	てあげる	助動詞	151	6	に至るまで	格助詞	183
5	ようかな	終助詞	153	6	AようがAまいが／AだろうがBだろうが	意向形	184
5	ようね／ようよ	意向形	169	6	にしろ	接続助詞	185
5	ぜ	終助詞	178	6	につれて／につれ	接続助詞	186
5	たがる	助動詞	179	6	にしたがって／にしたがひ	接続助詞	187
5	はずがない	助動詞	188	6	ようしない	意向形	189
5	せいで	接続助詞	190	6	ようとしても／ようとも	意向形	191
5	からではない	助動詞	196	6	に限らず	とりたて助詞(副助詞)	192
5	ましようか	終助詞	199	6	わりに	接続助詞	193
5	おかげで*	接続助詞	202	6	たところだ	接続助詞	194
5	かい	終助詞	208	6	のみならず	とりたて助詞(副助詞)	195
5	からか	終助詞	211	6	にて	格助詞	197
5	尊敬語(不規則)			6	ているところだ	助動詞	198
5	お～する(謙譲語)			6	ようとする／ようしたら	意向形	200
5	連体修飾(外の関係・非制限節、相対補充)(産出)			6	に際して／に際し	格助詞	201
6	ている(反事実)	助動詞	12	6	からには	接続助詞	203
6	まで	格助詞／とりたて助詞(副助詞)	35	6	わけがない*	助動詞	204
6	ようと	意向形	113	6	上に	接続助詞	205
6	ては*	接続助詞	119	6	にしては	接続助詞	206
6	ととても	接続助詞	122	6	に関わらず	接続助詞	207
6	のみ	とりたて助詞(副助詞)	132	6	につき	格助詞	209
6	ためだ(理由)*	助動詞	138	6	かと思うと	接続助詞	210
6	と見られている	助動詞	139	6	語順倒置(ハーガ)		
6	ことにする	助動詞	141	6	謙譲語(不規則)		

7. まとめ

本稿では、日本語教育を取り巻くさまざまな状況に対応するために必要とされる新しい文法シラバスの策定法について考えた。このシラバスは、タイプの異なる4つのコーパスの頻度にもとづいて、そこに日本語教育文法の知見を加味して策定されたものである。今後は、このシラバスにもとづいた教材の開発に傾注していきたい。

謝辞

本稿は、日本学術振興会による科学研究費助成金基盤研究(A)「やさしい日本語を用いた言語的少数者に対する言語保障の枠組み策定のための総合的研究」(平成25～28年度 研究代表者:庵功雄)、および、国立国語研究所の共同研究プロジェクト「学習者コーパスか

ら見た日本語習得の難易度に基づく語彙・文法シラバスの構築」(プロジェクトリーダー・山内博之)の助成を受けたものである。

参考文献

- 庵 功雄(2009)「地域日本語教育と日本語教育文法:「やさしい日本語」という観点から」『人文・自然研究』3、pp.126-141、一橋大学
- 庵 功雄(2011a)「日本語教育文法からみた「やさしい日本語」の構想:初級シラバスの再検討」『語学教育研究論叢』28、pp.255-271、大東文化大学
- 庵 功雄(2011b)「日本語記述文法と日本語教育文法」森篤嗣・庵功雄編『日本語教育文法のための多様なアプローチ』ひつじ書房
- 庵 功雄(2013a)「日本語教育文法の現状と課題」『一橋日本語教育研究』創刊号、pp.1-12、ココ出版
- 庵 功雄(2013b)「「やさしい日本語」とは何か」庵功雄・イ・ヨンスク・森篤嗣編『「やさしい日本語は何を目指すか」』pp.3-13、ココ出版
- 庵 功雄(2013c)『日本語教育、日本語学の「次の一手」』くろしお出版
- 庵 功雄(2014a)「「やさしい日本語」研究の現状と今後の課題」『一橋日本語教育研究』2、pp.1-12、ココ出版
- 庵 功雄(2014b)「文法シラバスの作成を科学する」公開シンポジウム「シラバス作成を科学にするー日本語教育に役立つ多面的な文法シラバスの作成ー」予稿集
- 庵 功雄(近刊)「言語的マイノリティに対する言語上の保障と「やさしい日本語」」『ことばと文字』2、くろしお出版
- 庵 功雄監修(2010, 2011)『にほんごこれだけ! 1、2』ココ出版
- 尾崎明人(2004)「地域型日本語教育の方法論的試論」小山悟他編『言語と教育』、pp.295-310、くろしお出版
- 白川博之(2005)「日本語学的文法から独立した日本語教育文法」野田尚史編『コミュニケーションのための日本語教育文法』、pp.43-62、くろしお出版
- 仁田義雄(1995)「日本語文法概説(複文・連文編)」宮島達夫・仁田義雄編『日本語類義表現の文法(下)』、pp.383-396、くろしお出版
- 野田尚史(2005)「コミュニケーションのための日本語教育文法的设计図」野田尚史編『コミュニケーションのための日本語教育文法』、pp.1-20、くろしお出版
- 南不二男(1974)『現代日本語の構造』大修館書店